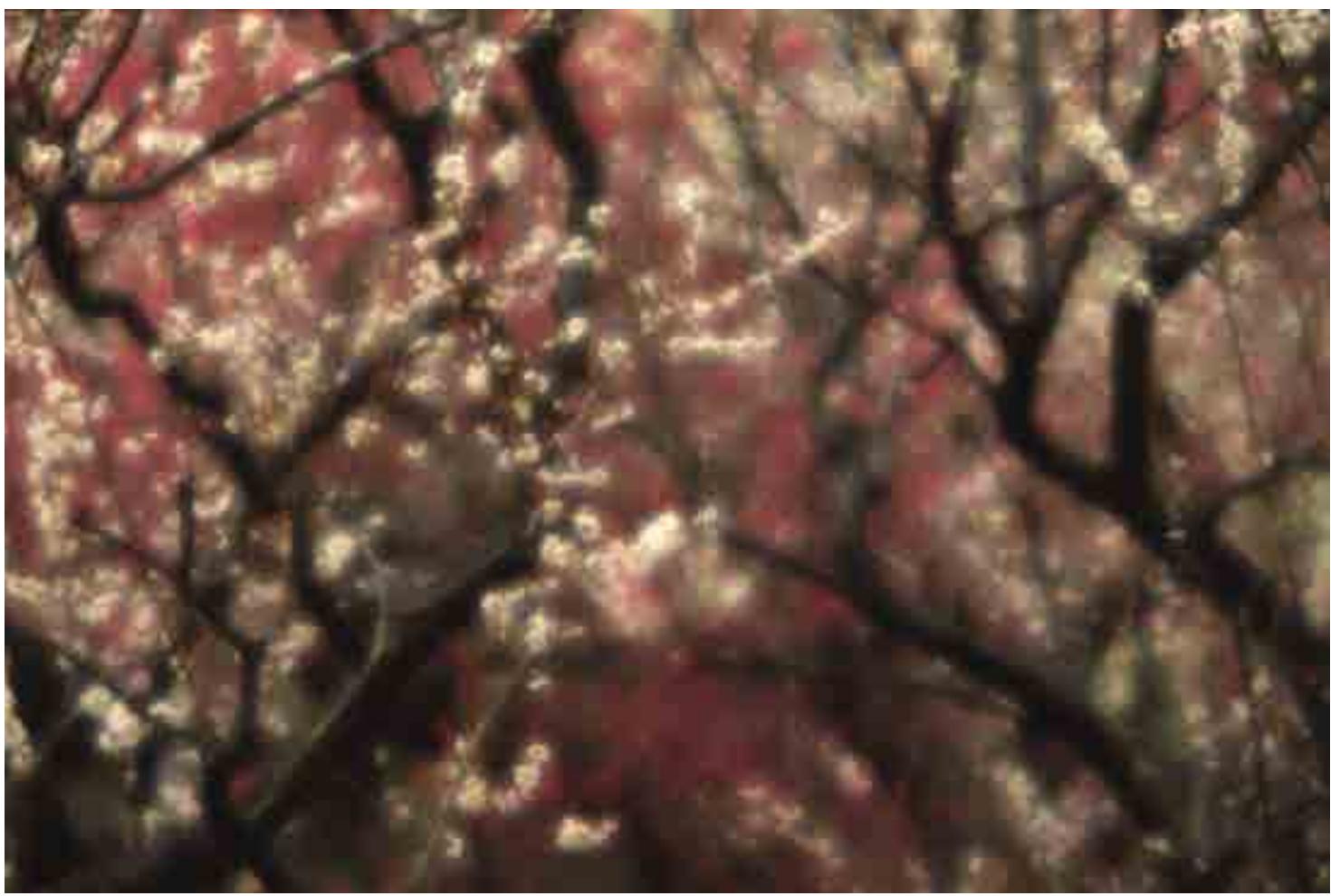




あなたの声をリレーする



「梅」

CONTENTS

- 新年のご挨拶 P2~P4
- 大雪の中行われた看護師国家試験 P5
- 第24回参議院選挙についてのアンケート結果 P6~9
- 研修報告 P10
- 新春お年玉付きクイズと4コマまんが P11
- 今後の予定 P12
- 編集後記 P12



新年のご挨拶

◆福島県看護連盟会長
本内 敦子



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、会員の皆様に格別なご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年度前半の看護連盟事業は、第24回参議院選挙に重点を置き、看護の代表「高階恵美子参議院議員」を再び国政に送ることができました。会員はじめ多くの皆様のご支援、協力の賜物と深く感謝申し上げます。そして後半は予定していた各種研修会、国会見学等を実施いたしました。現在、県内各地区においてもそれぞれ役員、支部長が中心となり、会員の皆様に看護連盟組織の理解を深めていただき、共に看護の課題に取り組んでいくために、様々な研修を行っているところです。また、昨年11月には、平成29年度看護職確保に関する看護関連事業予算要望書を自民党本部に提出してまいりました。

平成29年度は、現場の声を国政に届ける活動と共に、組織強化のために会員一人ひとりに連盟組織の理解と代表議員の活動等の情報を伝えつつ、会員増への取り組みをしてまいりたいと考えています。

本年も皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

◆日本看護連盟会長
草間 朋子



開かれた楽しい
連盟活動を目指して

第24回参議院選も無事終了し、新春を迎えた。決意を新たに、会員のみなさまと一緒に、次の目標に向かってがんばってまいります。

日本のこれから、「予防し、治し、支える」保健医療介護を担っていくのは看護職です。看護職が安心して、明るく、プライドをもつて活躍できることが、県民・国民のみなさまによりよい医療介護を提供できる原動力になります。このためには、看護が抱える課題(看護政策)の実現に向けて組織的に活動していく、看護連盟の「組織の力」の強化が不可欠です。

平成28年11月郡山市に「ふくしま医療機器開発支援センター」が設立、また12月には学校法人福島県立医科大学に「ふくしま国際医療科学センター」が設立され、高度医療、最先進医療を行う施設が整いました。新たな未来が見えてきました。

連盟のスローガンは、「ベッドサイドから政治を変える」です。連盟の活動は、会員のみなさまの、「発言」「働き掛け」からスタートします。「待ちの姿勢」ではなく、会員のみなさまの一人ひとりの前向きな積極的な行動が、看護政策実現に結びつくと信じて、連盟活動を楽しく続けてまいります。

申しあげます。

会員の皆様におかれましては心身のご健康に留意され、ますますます活躍されますように、祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

◆福島県看護協会会长
高橋 京子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

東日本大震災と原子力発電所の事故から6年となりました。昨年4月の熊本県において大きな地震が発生し、鳥取県においても地震が発生しました。被災されました方々へお見舞いを申し上げますとともに、「一日も早く復興へ」となりますようお祈り申し上げます。全国から今もなお福島県の看護職に対しご支援を賜りまして、御礼を申し上げます。

平成28年11月郡山市に「ふくしま医療機器開発支援センター」が設立、また12月には学校法人福島県立医科大学に「ふくしま国際医療科学センター」が設立され、高度医療、最先進医療を行う施設が整いました。これもひとえに看護連盟の皆様の活動がここに形になったと考えます。看護連盟の皆様方にここに改めて御礼申しあげます。

看護連盟の皆様方と連携し福島県の看護職のお一人おひとりにつながるように、役に立つよう努めしてまいる所存です。どうぞよろしくお願い申しあげます。

◆参議院議員
たかがい恵美子



謹賀新年　丁酉の2017年は、直感力と行動力を磨いて運気を取り込みいのち（人生）の実りについて、改めて考えたいと思っています。

ひとの生きる力を守り支える看護のパワーを存分に活かせる社会つくりを進めたい。そのためには、私たちは自らの知識・技術・経験を総動員して、諸般の労働法制の改革に取り組んでいかなければなりません。

これから数年間は、従来の予想を超える多様な医療需要の増加と供給市場の拡大が急速に進むと見込まれます。変化を座して待つのはなく、プロの目利きで時代を先取りする攻めの姿勢で挑みたいものです。

また、2015年に始動した我が国の女性の健康科学については、十分な学術基盤が醸成されるよう、2016年に始動した「幸齢社会への挑戦バッピー・プラチナ運動」は順調に各所での事業が充実するように、引き続き力を注いで参ります。

さらに二期連続の自民党女性局長として、7つの重点政策の二層の推進と女性議員の育成と政治力向上の体制整備にも取り組みます。

本年も、看護職の誇りを胸に鋭意努力する所存です。みなさまのますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げます。

◆プロフィール

1963年宮城県生まれ
1993年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業
1997年東京医科歯科大学大学院医学系研究科博士課程後期中退
日本看護協会常任理事
2010年第22回参議院議員比例代表選挙初当選 厚生労働大臣政務官、自民党参議院副幹事長、看護問題

※職歴等は省いています。詳しくは各議員の公式サイトをご覧ください。

小委員会副委員長、自民党女性局長
2016年第24回参議院議員比例
代表選挙2期目再選
自由民主党女性局長再任
党女性の健康の包括的支援に関するPT座長



◆参議院議員
石田まさひろ



福島県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。平成29年が皆様にとってすばらしき年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

2017年の干支は丁酉（ひのとり）となります。酉年の「酉（ゆう）」は「酒」という字のつくりになつているように、収穫した作物から酒を作る、「実る」という意味もあるのだそうです。皆様とともに実りある年にして参ります。

通常国会においては、引き続き社会保障制度改革の議論が進められています。「ニッポン一億総活躍プラン」の新三本の矢として、「第1の矢 希望を生み出す強い経済」「第2の矢 夢をつむぐ子育て支援」「第3の矢 安心につながる社会保障」が放たれる中、来年の診療報酬、介護報酬同時改定に向け、今年は大きな山場を迎える年となります。

昨年の臨時国会で議院運営委員会理事を拝命し、全省庁の窓口となつて議会運営に携わっています。この経験を、看護政策遂行に生かしていきます。

私たち看護職がそれぞれの力を發揮していき看護をした、と実感できることは、国民の皆様ひとりひとりが安心して暮らせる社会の必要条件だと思います。看護の現場の明るさは、日本の元気のバロメーターだという信念で国政に取り組んで参ります。今年も、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆プロフィール

1967年奈良県生まれ
1990年東京大学医学部保健学科卒業
1995年日本看護協会 調査研究室、情報管理課、政策企画室長歴任
2002年日本看護連盟 常任幹事、幹事長歴任
2013年第23回参議院議員比例代表選挙初当選 沖縄及び北方問題に関する特別

※職歴等は省いています。詳しくは各議員の公式サイトをご覧ください。

委員会委員長、自民党国会対策委員会副委員長、看護問題小委員会副委員長
兼事務局長等



◆衆議院議員
あべ俊子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

福島県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様のお力添えのおかげさまで、国政での看護の議席を堅守できました大変喜ばしい年となりました。また私自身は昨年の党内人事によって、新たに副幹事長として党務に就かせていただきました。副幹事長としては、皆様のもとへ赴いて生の声を聞かせていただくあるさと対話というプロジェクトのほか、女性活躍推進や農林水産振興など地方活性化のための取り組みを担当しています。震災後の復興はまだ道半ばではありますが、皆様に寄り添い、その声にしっかりと耳を傾けて、本年も少しでも復興を前へ進めていけるよう精一杯努めてまいります。

そして新しい年を迎えた今、これからも超高峰社会を支えるためには、看護職の皆様の大好きな力が必要です。その看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもつて看護できることを心から願うとともに、それを支える立場から、看護がさらにより良く発展していくためのお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでまいります。

福島県看護連盟の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

※職歴等は省いています。詳しくは各議員の公式サイトをご覧ください。

◆プロフィール

1959年宮城県生まれ
1988年三井記念病院高等看護学院卒業
1997年イリノイ州立大学シカゴ校大学院博士課程修了
2003年日本看護協会副会長
2005年第44回衆議院議員選挙初当選(岡山3区)
2009年第45回衆議院議員選挙2期目当選
外務大臣政務官

2012年 第46回衆議院議員選挙3期目当選

農林水産副大臣

2014年 第47回衆議院議員選挙4期目当選

2016年自民党副幹事長



◆衆議院議員
木村弥生



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私が4人目の看護職議員として初当選してから2年、これまでお育ていただいた看護職の先輩議員の皆さまには、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。あべ俊子先生には事務所ぐるみで諸々ご相談にのっていただいております。石田昌宏先生は少年院や女子刑務所の視察同行にお声掛けくださいました。たかがい恵美子先生は女性局長として、女性局副局長の私に常にアドバイスを下さいます。

昨年は、看護政策はもちろん、多くの先輩議員から助言・指導をいただき、各省庁の各担当者とも議論しながら医療的ケアが必要な障害児の支援、養子縁組のあっせんの法案等に関わり、また、昨年3月には、当時政務会長であった稻田朋美先生からの推薦により、待機児童問題等緊急対策特命チームの座長に就任しました。

今後も、光の当たらぬところにあたたかな光を当てる仕事に汗をかく政治家でありたいと思っています。

昨年4月には、自民党京都府第三選挙区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)支部長に選任され、私はいま新たな選挙区で頑張っております。京都三区にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただけますようお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

※職歴等は省いています。詳しくは各議員の公式サイトをご覧ください。

◆プロフィール

1965年東京都生まれ
2007年慶應義塾大学看護医療学部卒業
2008年日本看護協会 広報部課長、
政策秘書室室長歴任
2014年第47回衆議院議員選挙初当選
(比例北関東ブロック)
自民党国際局次長、女性局次長等

待機児童問題等緊急対策特命チーム座長

2016年京都府第三選挙区支部長



2014年2月16日

大雪の中行われた

看護師国家試験
—その当時を振り返つて—

しかし、多くの受験者が被害に遭いました。

いち早く、自民党災害対策特別委員会、自民党看護問題対策議員連盟、日本看護連盟、日本医師会は再試験の救済措置を求め、たかがい恵美子議員はこれら団体の先頭に立ち、厚生労働大臣のもとに走り、緊急要請を行いました。

そして、3月19日追試験が実施されました。このように素早く事が進んだのは、看護職議員のたかがい恵美子議員、阿部俊子議員、石田まさひろ議員がいてくれたおかげです。

その当時の事を、受験当事者と受け入れ側のお二人の方に振り返つてもらいました。

「人生を変えた追試験」

竹田総合病院看護師 緑川 敦子

私たちは、国家試験前日バスに乗車し、受験地へ出発しました。例年にはない大雪で道路は渋滞していました。はじめは、無事に受験地に到着できればいいなと安易に考えていました。しかし、夜になつても渋滞は続き、車中泊を余儀なくされました。このまま試験会場に到着できないのではないかと不安と緊張で眠れず朝を迎えた。朝になつてもバスは進まず、時間だけが過ぎていき、バスの中で試験開始時間を迎えた瞬間、やり場のない怒りや受験できなかつた悔しさで胸が張り裂けそうな思いでした。

今後、どうなるのか分からず不安な日々を過ごしました。そんな時、追試験ができると知り、安堵感を覚えました。そして、無事試験に合格した時は感慨無量でした。

今、念願の看護師として現場で働くことができて、とても嬉しく思います。あの時、追試験を受験できたことで、私の人生は大きく変わったと思います。皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

「雪害と追加措置の国家試験」

竹田総合病院総看護部長 龍川 初江

その日、テレビもネットも大寒波の襲来を告げていました。当院では院内学会の講師がJR線の混乱で到着せず講演なしで終了でした。そして看護学生も、試験地仙台に到着していないうらしいこと聞きましたが、まだ前日だから多分着くだろうと思つていました。

明けて月曜日、学校から受験できなかつた旨の連絡があり、前代未聞の出来事を知りました。ユニフォームの試着も終え、新人配属の調整中であとは発表を待つばかりから一転、皆が暗い気持ちになりました。

その後、追加試験の特別措置が取られることを知りました。ホッとすると同時に、医療界だけでなく国の大企業として取り上げ、ご尽力いたいたい看護の代表議員の皆さんに感謝しました。今だから言えますが追加試験に行く学生に「予定通り受験した人よりも多く勉強できたと思い頑張って」と心の中で声を掛けました。後にも先にも貴重な経験でした。

第24回参議院選挙についてのアンケート結果

お忙しい中、多くの看護職の皆様に回答いただきありがとうございました。

アンケート結果を、連盟会員、非連盟会員別にご報告いたします。

目的: 第24回参議院選挙を終えて、看護職の選挙についての意識・行動調査をすることで今後の連盟活動と、次期参議院選挙の取り組みに活かしていくことを目的とする。

対象: 連盟会員、連盟会員の所属している施設の非会員看護職で、個人会員は除いた。

調査期間: 平成28年7月26日発送～8月25日

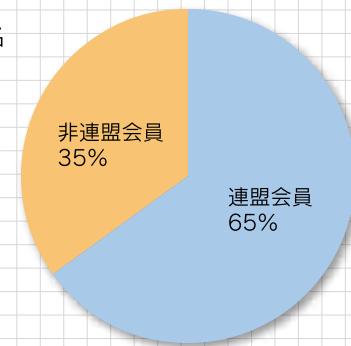
倫理的配慮: 回答用紙は無記名とし、一人ずつ封筒に入れ個人が特定できないようにして施設毎に回収した。集計結果は連盟事務所にて役員が行い、結果は目的以外には使用しない。

回収結果: 全回答者数8,718名、施設回答96施設

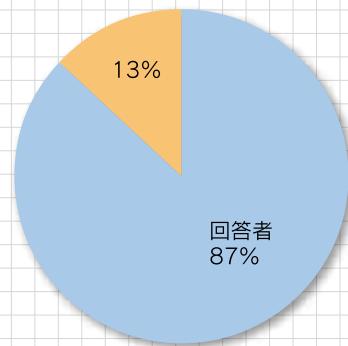
施設回収率68.6% 会員回答率87.5%

全回答者数 8,718名
(連盟会員5,637人
非会員3,081名)

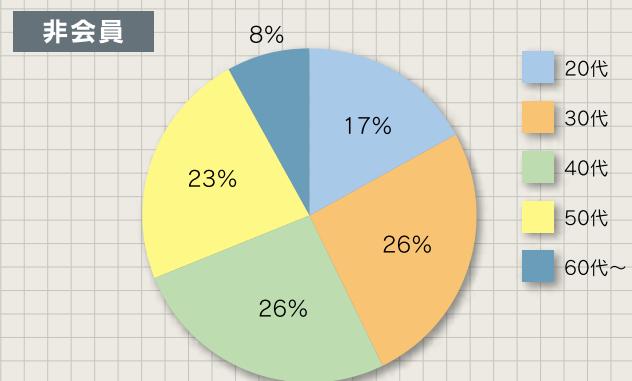
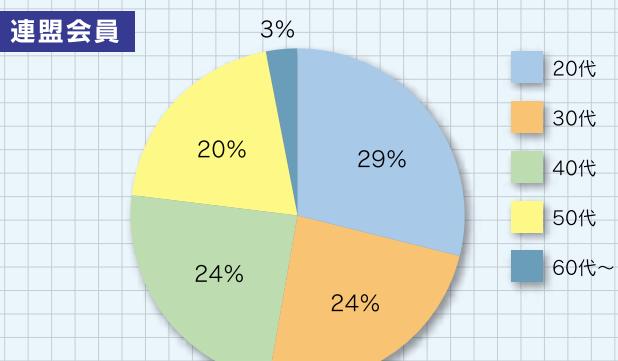
回答者の会員・
非会員の割合



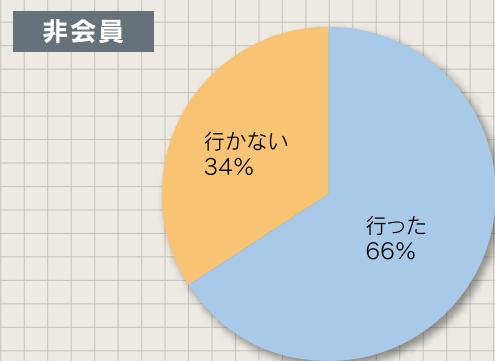
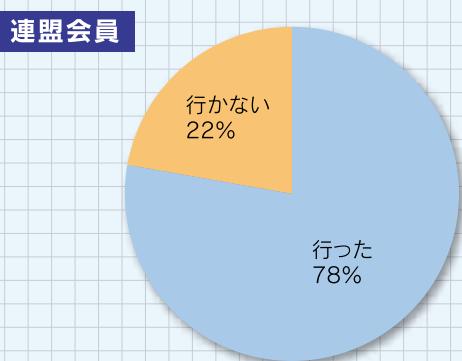
連盟会員数 6,439人
(個人会員を除く)
回答した会員数
5,637人
連盟会員のうち
回答した会員の割合



1 年代



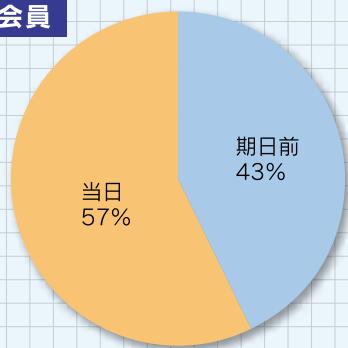
2 あなたは今回の選挙に行きましたか



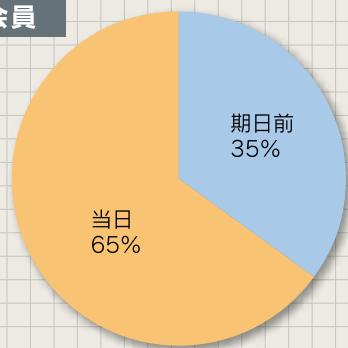
1

2 行ったと答えた方にお聞きします(1)期日前でしたか投票日当日でしたか

連盟会員



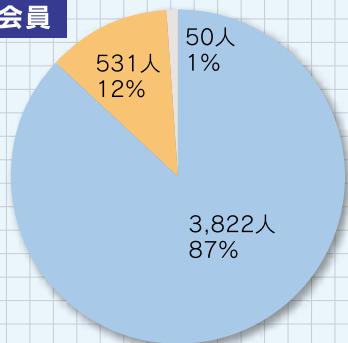
非会員



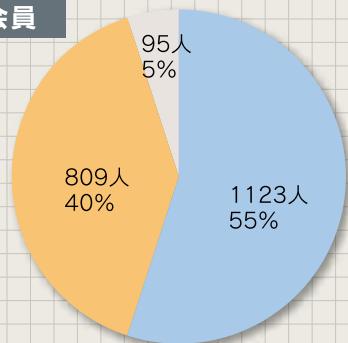
2

2 (2)投票は、たかがい恵美子に入れましたか

連盟会員



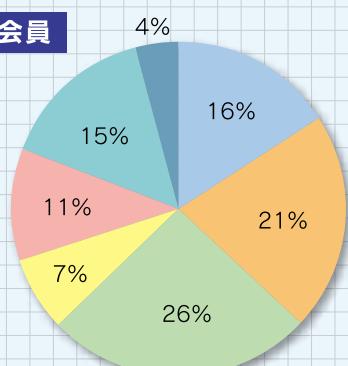
非会員



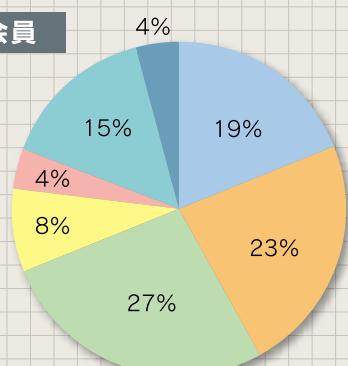
3

2 (3)投票しなかった理由は何ですか

連盟会員



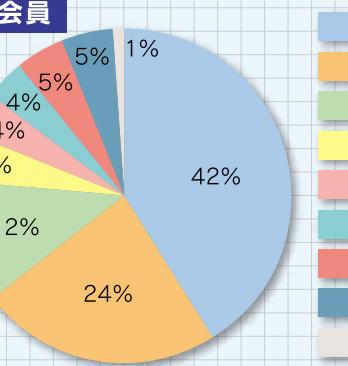
非会員



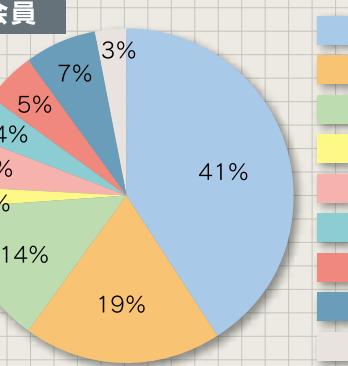
1

3 行かなかつたと答えた方にお聞きします(1)行かなかつた理由をお聞かせください

連盟会員



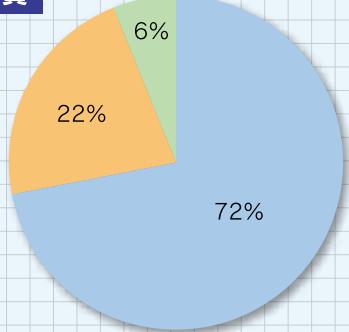
非会員



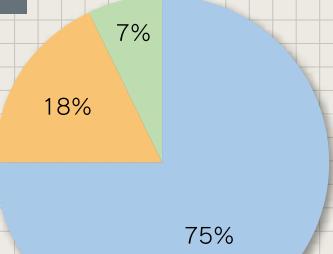
2

3 (2) 過去に選挙に行ったことがありますか

連盟会員

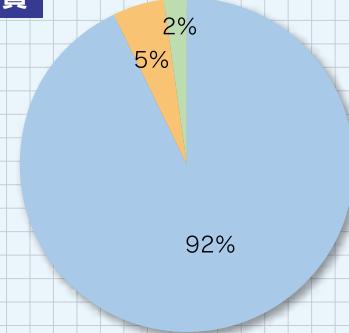


非会員

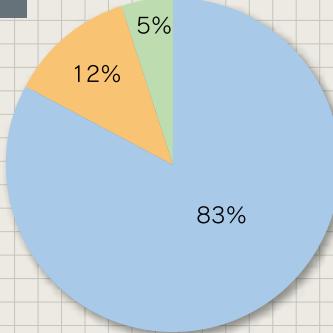


4 看護職代表議員が国政の場にいることが大事だと理解していますか

連盟会員



非会員



5 現在、国政の場に自民党看護職議員が4人います。知っている議員は？

連盟会員



非会員



■アンケートで「たかがい恵美子に投票した」と答えた会員の方の数を地区別に、実際の得票数と共に出してみました。

地区名	得票数	連盟会員数	投票したと答えた会員数
県北	1,470	1307	479
県中	1,968	2648	1710
県南	1,182	710	449
会津	1,505	1286	904
相馬・いわき	746	493	280
合計	6,871	6,439	3,822

※会員数は個人会員を除いた人数

アンケートに書かれた皆様からのご意見

皆様から、様々なご意見をいただきました。一つ一つが大変貴重なご意見でした。これから連盟の活動に活かしていくためにも、まずは、連盟という組織の役割を理解してもらえるような働きかけをしていきたいと考えています。皆様からのご意見の一部を掲載いたします。

①アンケートそのものに関するここと

- このような内容のアンケートを実施することがおかしい。無駄。
- アンケート集計、時間と人手、お金がかかると思う。お金はどこから捻出するか。
- 「看護職議員がいることが大事かどうか」を判断するのは個人の自由で、問うのは不適切。「連盟」という職能団体が特定の候補者を支持するのは疑問、団体が推すのはおかしい。誰に投票するかは個人の自由である。誰に投票したか問われる意味が解らない。

②連盟活動に関するここと

- 研修や講演内容の検討が必要。地域ブロック毎の勉強会や研修は重要。
- 看護連盟会員という自覚が薄れてきていると感じる。会員の中にも投票に行く意味を忘れているように思う。
- 選挙そのものの仕組みを理解できる働きかけが必要だと思う。
- お金の使い道を明確にしてほしい。看護協会と連盟会費の支払いが一緒なので負担感がある。
- 看護協会と連盟の違い。看護連盟に加入することの利点が分からず。
- 看護連盟の研修会に参加し、現場の声を国会に届けるため現状に关心を向け投票することが大事であることを理解できた。多くの看護師が研修を受けると投票数も増えるのではないか。
- 看護連盟の必要性が看護師に伝わっていないのではないか。看護職にとって政治と直結する看護連盟は大事であり、私達の社会的地位も昔よりは上がってきたと思う。看護職議員がいることで私達が働きやすい職場をつくって頂いているので、国政の場に必要。
- もっと「政治に興味を持つようなイベント」「施設訪問の時間を長く」「団体参加を組み連盟訪問」など企画してはどうか。
- 看護協会・連盟はセットでの入会が好ましいと思う。看護職全員で応援していくというような土台づくりが必要だと思う。

③議員に関するここと

- 看護職議員4人どのような人なのか分からない。私達のために活動してもらっているという実感がない。
- 看護師の地位が介護職・保育士と同等にという動きがあり不安である。看護師の立場をゆるぎ無いものに確立して頂きたい。
- 看護の現場を見て、現場の声を聴いてほしい。地方の小さな診療所も訪問して欲しい。
- これまでの高階議員の活躍は、看護界、社会に貢献されており実行力がありすばらしい。これからも頑張つて欲しい。

アンケートから

今回の選挙では、目標を10,000票として活動してきましたが、結果は6,871票で大幅に目標数を下回ってしまいました。政治離れと一般に言われていますが、我々看護職の組織代表として候補者を出していることなので、これは大きな問題です。そこで、皆様からご協力いただいたアンケート結果を基に、問題点と今後の取り組みについてまとめてみました。

問題点

- 1.看護協会、看護連盟という職能団体の目的や活動についての理解が乏しい
- 2.看護と政治の関係が解からない
- 3.看護職代表議員がいることの意味が解らない
- 4.なぜ、特定の候補者の後援会活動や政治活動をするのかわからない

以上の4点が一番の問題となります。そこでこれらに対応していくためには、
以下の事に取り組んでいきたいと思います。

- 1.施設内でのミニ集会、研修会などで、連盟の役割を伝える
- 2.会員・非会員に連盟活動の情報を流していく フェースブック、SNSなどを利用
- 3.看護職議員の活動を伝える
- 4.後援会活動や選挙活動のあり方を工夫する
- 5.会員増を図る

これらの目標を次年度からは活動計画に入れて、県・支部役員の協力のもと、研修の持ち方や研修の内容に反映していくと考えます。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

研修報告

28年9月から12月に実施された県主催の研修

支部長研修会

9月3日（土）10：00～12：30

看護会館みらい研修室

講演1 テーマ：支部長としての役割と活動

講師：衆議院福島県第3選挙区支部
支部長 上杉謙太郎様

講演2 テーマ：人生を楽しみ生き生きと働くために

講師：バスガイド 八巻住子様

参加者 県役員・支部長42名



リーダー研修会

9月15日(木) 13：30～16：00

郡山市民文化センター集会室

講演1 テーマ：支部役員として活動を振り返って

-一票につながるための活動の工夫-
講師：愛野記念病院看護部長 砂川桂子様
長崎県看護連盟県央地区第2支部長
愛野記念病院看護師長 松尾明子様

講演2 テーマ：看護連盟の役割

講師：福島県看護連盟会長 本内敦子

参加者 各支部連盟役員104名・山形県看護連盟役員3名・岩手県看護連盟会長・県連盟役員10名



北海道・東北ブロック看護管理者・教育者等政策セミナー

9月24・25日（土・日）

青森国際ホテル（青森市）

講演1 テーマ：「看護政策の推進について」

講師：日本看護協会副会長、
日本看護連盟幹事 菊池玲子様

講演2 テーマ：「現場から政治を動かすためには」

講師：明治学院大学教授 川上和久先生

講演3 テーマ：「看護の未来」

講師：参議院議員 たかがい恵美子先生

講演4 テーマ：「地方創生」

講師：衆議院議員 木村太郎先生

グループワーク

テーマ：「看護政策の実現に向けて
どう取り組むのか」

参加者 39名（福島県6名）



国会見学

10月21日（金）

参加者 31名

たかがい議員、石田議員、木村議員と福島県選出の国会議員の先生方があいさつしてくださいました。

たかがい議員来県

9月28日（水）

当選の御礼に、自民党福島県支部連合会事務所・看護協会・連盟事務所をあいさつに回りました。



看護管理者セミナー

12月10日（土）10：00～12：30

看護会館みらい研修室

講演 テーマ：「看護連盟会員としての
看護管理者・教育者の役割」

講師：前日本看護連盟副会長
看護職キャリアサポート顧問
大島敏子先生

参加者 看護管理者87名



連盟
クイズ

新春お年玉付きクイズ

次の文の空欄になっている(1)~(5)を下記から選びお答えください。

クオカード5,000円分 3名様

季節のフルーツ 7名様にプレゼント!

QUO
5000



一看護連盟のあゆみー

看護協会が誕生した翌年、昭和22年4月に初の参議院選挙が行われ、初代日本看護協会会长の井上なつゑ氏が立候補し当選を果たしました。しかしその後、第3回、第4回、第5回の参議院選挙では、看護協会として候補者を立てましたが当選させることができず、この間、看護職の国会議員が一人もいないという状況が続きました。この看護職議員の長期不在は、せっかく設置された「(1)」が廃止されてしまうという結果まで招いてしまいました。そこで看護協会は、政治活動のできる団体が どうしても必要と感じ、昭和34年看護協会の目的を達成するための政治団体として看護連盟を設立しました。そして、林塩議員が当選した翌年・昭和38年に復活するというなんとも分かりやすい経過をたどります。

看護職国会議員がいるかいないかということが、いかに重要な問題かというのは、この一つの出来事をみても明らかのように、私たちの代表を国政に送り込めるかどうかというのは、看護界における重要な課題なのです。

看護連盟発足以降、看護協会と連盟は役割を分担して活動しています。看護協会は看護政策の提言を行い、看護連盟は看護協会の政策実現のために「(2)」役割を担っています。現在国政の場に、自民党参議院議員の「(3)」・石田昌宏氏が、衆議院議員として、阿部俊子議員と木村弥生議員の4名がいて、私たち看護職のために尽力されています。これまでの看護職議員の主な功績として、「厚生省医務局に看護課新設・復活」「社会保険に『基準看護制度』創設」「夜間看護手当の支給・アップ」「看護教員養成の新設」「保助看法一部改正」「ナースバンクの設置」「看護関係予算のアップ」「中央社会保険医療協議会に看護職専門委員就任」「(4)制定」「男性保健士の誕生」「(5)で統一」「医療・介護関連法律の一部改正」「雪害による看護師国家試験の追加試験の実施」等があります。

A 高階恵美子 B 看護の日 C 厚生労働省看護課

D 国政に代表を送る E 看護職の名称『師』

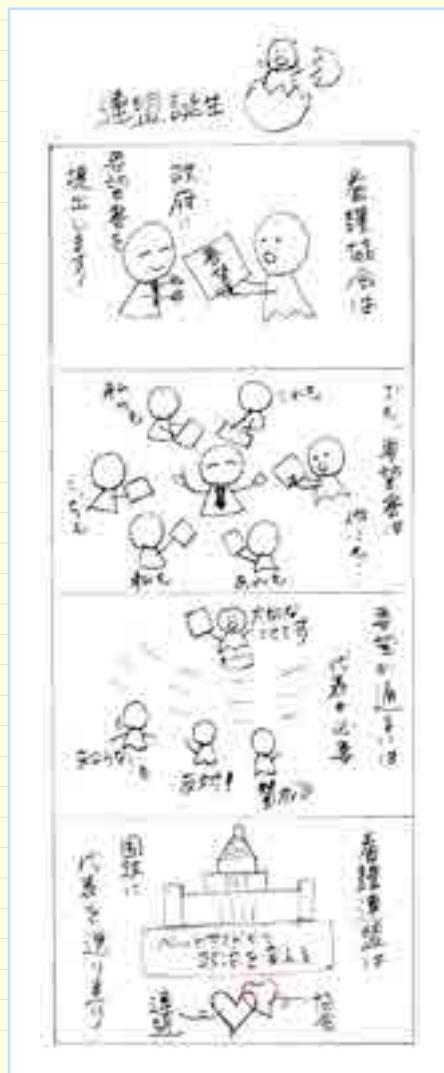
応募方法 ● このページのQRコードからアクセスするか、ハガキにて必要事項をご記入の上ご応募下さい。

＜必要事項＞ ● 1.クイズの答え (1)~(5)の順に当てはまる言葉のアルファベットを記入
2.氏名 3.郵便番号 4.住所 5.電話番号 6.勤務先

応募宛先 ● 〒963-8871 郡山市本町1-19-8 生天目ビル1階 福島県看護連盟
締切 ● 平成29年1月31日(火) *当日消印有効

当選発表 ● 応募締め切り後、正解者の中から抽選で決定いたします。当選者には、2月中旬に商品発送した上で、次回の広報誌にお名前を発表させていただきます。

当選者は、福島県内在住、又は勤務されている方に限らせていただきます。連盟会員、非会員は問いません。



●今後の予定●

- 2月4日(土) 10:00~12:30 連盟会員一般研修
13:00~15:00 新年交礼会
郡山ビューホテルアネックス
- 2月14日(火) 10:00~16:00 役員・支部長合同会議
- 2月28日(火) 14:00~16:00 青年部委員会
- 3月10日(金) 14:00~16:00 役員会
- 6月15日(木) 平成29年度日本看護連盟通常総会
- 6月17日(土) 平成29年度福島県看護連盟通常総会

平成29年度会員募集中!

更新・新規入会受付を行っています。

自民党本部に
平成29年度予算要望書を
提出してきました。
11月25日(金)会長・幹事長の2人で行き、
次の2点をお願いしてきました。

- ①看護職確保に関して、
看護関連事業予算の確保
- ②看護学校教員養成と
実習指導者育成に関する予算の確保



◎表紙写真◎

「梅」

うめ

撮影 = 秋山庄太郎



「梅、桃、桜で構成する写真集を上梓したい」。秋山庄太郎(1920~2003)は、晩年、そんな計画を練っていました。花の咲き具合だけでなく、枝ぶりにも人一倍こだわる秋山は、剪定の頃に撮影地を極力訪れ、本格的な撮影時期到来に備えました。掲載写真(1987年撮影)の東京郊外・神代植物公園(調布市)うめ園にも人影もまばらな時節に足を運んだ後、隠しておいた宝物を掘り起こすかのように、咲き誇る春の花木と向き合いました。日が西山に傾く時分、秋山はカメラをショルダーバッグに納め、植物園に隣接する、だるま市でも有名な古刹・深大寺門前のご龕脣の蕎麦屋で舌鼓。早春の秋山庄太郎のたのしみの一つでした。(秋山庄太郎写真芸術館館長・上野正人)

あけましておめでとうございます

日本看護連盟キャラクター カンタとレンコです

今年もよろしくね!



編集後記

あけましておめでとうございます。

今回、「りれい」初めての試みとして、新春お年玉付クイズを掲載しました。

QRコード・ハガキでのご応募、お待ちしています。4コマ漫画を連載します。お楽しみに!

今年も「りれい」を読んでくださいね! よろしくお願ひいたします。(関根)

●広報委員メンバー

委員長 仲村 和子(福島県立医科大学附属病院)
委 員 本多 文子(公立藤田総合病院)

委 員 矢野 英治(総合南東北病院)
委 員 関根 美保(公立岩瀬病院)